



キャンプ瑞慶覧（西普天間住宅地区）返還!!

去る3月末にキャンプ瑞慶覧（西普天間住宅地区）が米軍から
 権者へ返還されました。返還祝賀会のあいさつで議長は「関係者の
 皆様が長年待ち望んだ返還で大変喜ばしい。今後は地域特性を生
 かした跡地利用の実現に向け努力してまいりたい」と述べました。

ぎのわん 第95号

市議会だより

宜野湾市議会

宜野湾市野嵩一丁目1番1号
 電話 (098) 893-4411 (内337)
 印刷 文進印刷株式会社



加藤勝信内閣官房副長官へ「米軍基地返還における宜野湾市商工事業者の受注機会の拡大」についての要請を行う宜野湾市議団

定例会の経過

2月	24日	議会運営委員会
	26日	会期の決定、施政方針、案件上程、説明
	3日	上程案件に対する質疑
	4日	質疑、委員会付託
3月	5、6、9日	各常任委員会議案審査
	5日	議会運営委員会
	6日	議会改革に関する調査特別委員会
	11日	中間表決（委員長報告）議会運営委員会
	12、13、16、17日	一般会計予算審議（4日間）
	16日	議会運営委員会
	18～20、23～25日	一般質問（質問者24名）
	19日	基地関係特別委員会
	23、25日	議会運営委員会
	24日	基地関係特別委員会
	26日	各常任委員会の審査報告及び表決

平成27年度一般会計予算**368億円**余
賛成多数により可決!! (反対6名、退場2名)

3月 定例会

会期
 2月26日～3月26日

第389回宜野湾市議会定例会は、2月26日から3月26日
 までの29日間の会期で開かれました。

今定例会は、平成27年度一般会計予算や各会計予算のほか、
 介護保険条例の一部を改正する条例について、宜野湾市
 の保育等の利用者負担に関する条例の制定を含む48件
 にわたる議案等が審議され、24名の議員による一般質問も
 行われました。

「米軍基地返還における宜野湾市商工事業者の受注機会の拡大」に関する要請行動



②



①



③

①防衛省 左藤章防衛副大臣への要請
②内閣府 松本洋平内閣府大臣政務官への要請
③沖縄防衛局 井上一徳沖縄防衛局長への要請

米軍基地返還における 宜野湾市商工事業者の受注機会に関する意見書

可決

戦後70年に渡り、本市は市面積の32.4%にあたる米軍基地を抱え、市民の生活及び経済活動が大きな損失を余儀なくされる中、今年度末に返還される西普天間住宅地区及び市道宜野湾11号の一部返還については歓迎しております。

市内の商工事業者におきましては、中小・零細企業が大多数を占め、独自に企業努力をしているにもかかわらず、経済状況のありを受け苦しい企業経営をしております。また、若年従事者の離職や新規就業者の減少による建設従事者の高齢化などにより、地元建設関連事業所の存続等、深刻な不安が惹起しております。

政府においては、地域の消費の直接喚起を目的に多種多様な経済対策事業を実施しているところではありますが、まさに地元企業の活力こそが地域の活性化につながるものであり、地域の活性化をより円滑に行うためには、納税事業者である市内事業者が受注しやすくなるような配慮が必要であると考えております。

普天間飛行場の基地負担が続くなか、宜野湾市に所在する商工事業者が負担に応じた仕事も存在する状況を作ったいただき、また普天間飛行場の跡地利用計画などが進んでいく中で、人材育成等の観点からも市内の業者が建設、文化財、磁気探査、環境調査等の工事を受注し、返還跡地利用にかかわっていくことが極めて重要であります。

つきましては、宜野湾市の地域経済を担う商工事業者の発展ひいては雇用の確保、生活基盤の環境整備等の見地から市内建設事業者への工事の受注機会を拡大していただきますようお願いいたします。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成27年3月26日

沖縄県宜野湾市議会

【あて先】内閣総理大臣、防衛大臣、沖縄及び北方対策担当大臣、沖縄防衛局長

各関係機関への直接要請

〔直接要請行動〕

四月二日（県内）

▼沖縄防衛局長

四月十六日～十七日（県外）

▼内閣総理大臣

▼防衛大臣

▼沖縄担当大臣

▼県選出国会議員等

今定例会において、議会運営委員会から提出された「米軍基地返還における宜野湾市商工事業者の受注機会に関する意見書」は、全会一致で可

決され、後日、県内外の関係機関へ直接要請行動を行った。関係機関に対し、議員からは「国においては、これまでも地元事業者の受注拡大策に取り組んでいたが、本市の中小・零細事業者の参加や受注機会拡大に当たっては、いまだ十分ではない状況にあり、戦後七十年にわたり生活や経済活動に大きな損失を余儀なくされてきた本市の状況等も考慮の上、ぜひさらなる配慮をお願いしたい」との申し入れがなされた。

3月定例会 主な議案審議経過

平成二十七年 一般会計予算

可決

新年度一般会計予算は予算総額三百六十八億九千七百万円（対前年比二十七億千八百万円（六・九％）の減となっており、新規事業としては、

志真志幼稚園・小学校校舎増改築事業、介護二次予防教室送迎事業、宜野湾市地域防災計画等策定事業など新たに十七事業が実施される。

議案審査では、基金残高及び積立額のあり方、行財政改革の効果について、さらには市報ぎのわんの配布のあり方など、多くの議論がなされた。

予算の表決に際し、市民広場管理運営事業費や公共施設使用料・手数料の値上げの見直し、保護費の減額が市民生活を圧迫するとの反対討論に対し、社会保障費等の増が避けられない状況下で歳出の抑制がなされ、事業の優先順位も精査されている。また介護予防事業が強化され、待機児童対策事業は待機児童解消に向け大きな推進になるとの賛成討論がなされ、二名退場のもと、賛成多数（反対者八名）で原案のとおり可決された。

介護保険条例の一部を改正する条例について

可決

議案の概要は第六期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画における介護保険料率の見直し等を図るための条例改正である。

議案審査では、介護保険料基準額の推移について質疑がなされ、これに対し、過去に保険料基準額の引き上げを見送り、準備基金を大幅に取り崩した経緯があり、今後の認定率等の増加傾向を見込むと基準額を引き上げざるを得なかったとの答弁がなされた。

本会議の表決に当たっては、今後、本市の公共施設使用料等が値上がりする中、さらなる負担は市民へ説明ができない。また、介護保険は充実こそが必要であり、国庫負担の割合を大幅に引き上げ、市民に負担のかからない施策にするべきとの反対討論がなされ、これに対し、保険料の段階設定において、これまでよりも段階数をふやすなど、低所得者層への負担軽減が図られており、保険料の増額幅も県内十一市中、二番目に少なく、一定の評価ができるとの賛成討論がなされ、起立採決の結果、賛成多数（反対八名）で原案のとおり可決された。

一般質問

今定例会は、24名の議員から市政全般について、多くの一般質問がありました。紙面の都合上簡潔に掲載いたします。詳しい内容は、市議会会議録を自治会事務所や議会事務局に保管しています。さらに、市のホームページにも掲載いたしますので御利用ください。

答弁者

- 市長 佐喜真 淳
- 副市長 松川 正則
- 教育長 玉城 勝秀
- 水道事業管理者 外間 伸儀
- 総務部長 知名 朝祐
- 企画部長 和田 敬悟
- 基地政策部長 伊佐 徳光
- 福祉推進部長 國吉 秀子
- 健康推進部長 喜舎場 宏
- 市民経済部長 米須 清盛
- 建設部長 黒澤 伸行
- 教育部長 宮城 光徳
- 指導部長 石川 正信
- 消防長 浜川 秀雄

待機児童解消の取り組みについて



屋長千枝美議員

◎議員 平成二十七年度の保育所入所希望者数及び入所予定の児童数について伺いたい。

◎福祉推進部長 平成二十七年四月一日向けの入所申込者数は千百十九名で、そのうち内定者数は五百四十三名、また、三月の待機児童数は六百九十三名となっている。

◎議員 市は平成二十七年度に新たに保育園二園を創設し、百六十名の園児を受け入れる予定である。県は三年間で待機児童数をゼロにする方針を掲げているが、県の方針を受けて、市は今後どのような計画で進めていく予定か。

◎福祉推進部長 本市も県の「待機児童対策行動指針」に基づき、平成二十九年度末までに待機児童ゼロに向けて取り組むため、子ども・子育て支援事業計画を策定し、待機児童解消に努めてまいりたい。

◎議員 待機児童解消に向けて環境を整え、子供を産み育てやすい宜野湾市を目指して、事業計画の策定に取り組んでいただきたい。

市報ぎのわんの全戸配布について



知名康司議員

◎議員 新年度から委託業者による市報配布の一元化に至った理由について伺いたい。

◎企画部長 自治会加入、未加入世帯への二重配布や配布漏れ等の苦情を受け、配布を一元化することで、全市民への均一した配布が期待できる。

◎議員 委託するに当たり、自治会会長とは、事前に協議は済んでいるのか伺いたい。

◎企画部長 これまでに自治

会長と意見交換会を開催し、配布方法の一元化への理解をいただいている。

◎議員 市報配布の作業を民間へ一括委託することで、自治会と地域の関係が希薄化し、自治会離れが進み、加入率の低下が懸念されるが、市はどのようにお考えか。

◎市民経済部長 各自治会で魅力づくりを行っており、一括委託がすぐに加入率の低下に結びつくものではないと考えている。ただ、加入率低下については今後も自治会会長と連携を図り、加入促進に向け取り組んでまいりたい。

普天間高校の移設と普天間地区の活性化について



宮城勝子議員

◎議員 普天間高校の西普天間住宅地区への移転について市はどのようにお考えか。

◎企画部長 昨年末に普天間高校の移転について、同窓会やPTA、学校関係者の皆さんの連名での要請や署名活動を受けて、市長より当時の仲井眞県知事、諸見里県教育長へ要請を行っている。今後は、県より具体的な調整があれば協力して取り組んでまいりたい。

◎議員 普天間地区の活性化のため、移設した場合の普天間高校跡地利用計画を、門前町構想とあわせて策定してはどうか。

◎企画部長 県有地のため、県の関係部署において跡地に係る方針等が検討されると考えるが、普天間地域の発展や密集市街地の解消に役立つことから、今後、移設跡地の利用可能性について検討するとともに、開発が円滑に行えるよう、県と協議を進めてまいりたい。

子どもの学習支援事業について



桃原朗議員

◎議員 学習支援事業における通塾制度の利用割合について伺いたい。

◎福祉推進部長 今年度の通塾制度の利用実績は中学一年生で二〇%、二年生で三四・八%、三年生で四五・五%である。

◎議員 支援に対し、利用割合が少ないのはなぜか。

◎福祉推進部長 児童に対し、制度の周知は図っているもの

の、利用しない理由としては、「自主学習による学力維持が可能のため」「部活動との両立が厳しいため」また「通塾以前に学校へ通う習慣が身に付いていない児童もいる」など理由はさまざまである。

◎議員 高校進学後の支援についても説明いただきたい。

◎福祉推進部長 学校と連携し、詳細な状況を聞き取り、家庭訪問や面接を通して進学生徒やその保護者に対し、奨学金制度活用等の助言を行うなど支援を行っている。

◎議員 引き続き子供たちの支援に努めていただきたい。

キャンブ瑞慶覧の諸課題について



桃原功議員

◎議員 地権者説明会や地元協議会等の説明会を開催しているが、地権者及び関係者以外の市民参加を認めていないため、市民参加型の会合にできないか伺いたい。

◎基地政策部長 本市が開催する説明会については目的及び説明内容を検討し、必要に応じ、市民を対象に開催してまいりたい。

◎議員 市民は会合に参加す

る機会がなく、報道等で情報を知る限りである。沖縄市サッカー場でのドラム缶周辺のたまり水調査での出来事や普天満宮周辺でのドラム缶の毒性調査においても実態の把握ができない状態もあることから、市民に対して、西普天間住宅地区の跡地利用にかかる情報をもっと開示できないか伺いたい。

◎基地政策部長 協議会についてはマスコミ等へ情報を公表し、現在進めている。

◎議員 施政方針でもある市民参画と協働によるまちづくりに努めていただきたい。

男女共同参画支援センター周辺の道路整備について



米須清正議員

◎議員 当該センター周辺の排水路上部において、駐車や工事現場の仮設トイレが設置されるなど、通行の妨げとなっている。そこで、市としては、どのように管理を考えているのか、お伺いしたい。

◎建設部長 当該排水路の上部は、遊歩道として正式に設置されたものではないが、施設の巡回を強化しながら、無断駐車や構造物を設置しない

よう指導し、利用者の安全を確保してまいりたい。

◎議員 歩行者の安全を確保するためにも、当該排水路上部の整備を行っていただきたいが、いかがか。

◎建設部長 排水路の上部は地域の方々も利用しているため、排水敷に係る管理や駐車対策などを行いながら、歩行者が利用しやすいような対策を検討してまいりたい。

◎議員 当該箇所は、地域の高齢者やウォーキングなどで利用する方が多いため、ぜひとも当該箇所に係る道路整備をお願いしたい。

管理者不在の街区公園の対応方について



平良眞一議員

◎議員 我如古区内にある街区公園は、開発時に、所有権を開発業者から市に移管する協定を締結したものの、いまだ移管されておらず、また当該開発業者の所在も現在不明である。そこで、自治会での対応が困難なため、管理も含めて法的に対処していただきたいが、いかがか。

◎建設部長 土地の権利関係もあるため、市の無料法律相

談などを活用していただきながら、自治会と連携して検討してまいりたい。

◎議員 所有者不在の間、当該公園の遊具の安全管理、もしくは撤去等の対応をしていただきたいが、いかがか。

◎建設部長 当該公園の所有権がまだ開発業者にあるため、弁護士等と相談しながら検討してまいりたい。

◎議員 当該公園は、子供たちがよく利用しているが、ブランコは柱だけで使えない状況である。また自治会での対応も困難なため、ぜひ対応をお願いしたい。

嘉数区を舞台にした創作市民劇の取り組みについて



伊佐哲雄議員

◎議員 宇地泊区の創作市民劇に関しては、東京にある地域活性化センターを通して全国に情報発信をしたようだが、嘉数区の創作市民劇については、どのようにお考えか。

◎教育部長 バラエティー番組や、ラジオ、新聞等のあらゆる広報媒体を活用し、情報発信に取り組んでまいりたい。

◎議員 脚本家あるいは上演のタイトルは決まっているの

か、お伺いしたい。

◎教育部長 今回の創作市民劇の脚本は、仲村元惟氏が執筆しており、上演タイトルは「嘉数上の山」である。

◎議員 演出家、配役等について、お伺いしたい。

◎教育部長 演出家については、嘉数区からの推薦を受けて本年四月に選考を予定しており、配役に関しては、出演者の公募を締め切った後に決定するものと考えている。

◎議員 広報、宣伝活動をしっかりと頑張っていたら、ぜひらしい公演にしていきたい。

住宅改修費受領委任払制度の実施について



上地安之議員

◎議員 当該制度に係る平成二十七年年度の取り組みについて、お伺いしたい。

◎健康推進部長 四月一日より受領委任払制度を実施するが、件数においては、二百二十八件、予算額については、二千九百九十七万円を見込んでいます。

◎議員 住宅改修費と同様に、福祉用具購入費に係る受領委任払制度については、どの

ように考えているか。

◎健康推進部長 福祉用具購入に係る費用は、一万五千元から三万円程度であるため、利用者の自己負担が過度ではないことや、実施している保険者が一カ所のみであることから、今後、他の保険者の実施状況や調査研究を踏まえて、導入について検討してまいりたい。

◎議員 住宅改修費の受領委任払いを契機として、福祉用具購入費についても、市民サービス向上に向けて、調査研究をしていただき、今後の対応を期待したい。

預かり保育について



玉城健一郎議員

◎議員 現在の預かり保育の実施状況について、お伺いしたい。

◎指導部長 今年度の預かり保育の対象は五歳児のみとなっており、現時点での利用人数は百六十三名である。保育の時間は、通常の教育時間終了後から午後六時までとなっている。次年度は、預かり保育を必要とする五歳児は全員受け入れ、四歳児に関し

ては短期預かりとし、そのほか夏休みや冬休みの利用はもちろん、幼稚園卒園後の春休みの利用を三月二十九日まで受け入れるなど、利用期間の延長を図っている。

◎議員 四歳児の場合は、短期預かりのみとのことだが、ぜひ四歳児も長期預かり保育を行っていただきたいが、いかがか。

◎指導部長 四歳児に関しては、今後検討してまいりたい。

◎議員 いろいろとハードルも高いと思うが、ぜひ四歳児の長期預かり保育を実施していただきたい。

入札制度の見直しについて



伊佐光雄議員

◎議員 宜野湾市発注の土木建設工事で、一億五千万円以上の工事の入札方法と件数について伺いたい。

◎総務部長 一億五千万円以上の高額な工事については、抽選で選出された者によるくじにより最低制限価格を決定し、入札を実施しており、対象件数は一件であった。

◎議員 くじについて、法的な根拠があるかお伺いしたい。

◎総務部長 地方自治法施行令第百六十七条の九に基づき実施している。

◎議員 予定価格の事前公表については、もう少し議論する必要があると考えているが、県内で事前公表を行っている市は本市を含めてどの程度あるのかお伺いしたい。

◎総務部長 県内十一市の中で予定価格の事前公表を行っている市は本市を含め八市となっている。入札手続きの公平性等の確保に向け、今後とも調整、検討してまいりたい。

◎議員 ぜひ、検討をお願いしたい。

市道普天間三区・喜友名線の進捗状況について



知念秀明議員

市道普天間三区・喜友名線について、平成二年に現状の道路となつてから現在まで二十四年間も用地交渉が行われず今に至っているが、

建設部長 当該道路は、交差点との高低差が生じたため、交差点部分を残して平成二年

度に整備を終えていたが、平成二十五年度から事業化し、現在、地権者の方へ物件補償等の説明を行っており、引き続き同意が得られるよう努めてまいります。

市長 二十四年間、地域や地権者の方々へ御迷惑をかけたことに対しては、現在の市長として反省をしなければならぬと考えている。今後とも事務的な手続きを踏みながら、地権者としつかり協議を重ね、誠心誠意対応してまいります。

議員 ぜひ、対応をお願いしたい。

医療費の抑制について



島勝政議員

議員 歳入欠かん補填収入の用語の説明をお願いしたい。

健康推進部長 歳入欠かん補填収入とは、歳出に対して歳入の見込みがない場合、歳入歳出のバランスをとるために予算措置するものである。

議員 平成二十七年度は、六億五千万円の歳入欠かん補填収入があり、この分は赤字の計上と考えているが、その対策についてお伺いしたい。

健康推進部長 平成二十七年中に庁内検討委員会を設置し、国民健康保険運営協議会に諮問を行い、そこで歳入確保や歳出抑制について議論を深めてまいります。

議員 寝たきり老人等の在宅医療による歳出抑制や、各種検診等の市内医療施設の活用による歳入確保、また、海軍病院へ市民用の病棟をつくっていただくことで、雇用の創出に加え、食材・水道等を市で賄うことにより歳入確保につながるものと考えており、ぜひ検討いただきたい。

子ども医療費助成制度の拡充について



山城康弘議員

議員 沖縄県が子ども医療費助成制度を拡充した場合の本市の対応をお伺いしたい。

福祉推進部長 県の改正案は、現行の三歳児までの通院費助成を就学前まで拡充するものである。本市では現在、

議員 仮に医療費助成の対象について、小学校三年生から六年生まで拡充する際、歯科分に限定すれば約一千万円で拡充できることなるので、ぜひ検討していただきたい。

統合事業での自治会公民館建設の取り組みについて



伊波一男議員

議員 中原区の公民館建設事業については、いつごろを予定しているのか。

市民経済部長 現在のところ、平成三十年以降を予定している。

議員 公民館は老朽化しており、中原区のような厳しい財政状況の自治会は建てかえも難しい状況である。そこで、建設費の高率補助や用地の先行取得についてお伺いしたい。

市民経済部長 平成二十六年年度に民生安定事業の補助額が増額されたことに伴い、今後、高率補助の統合事業を行うことは厳しい状況である。また、用地の先行取得については、地権者に対して税控除が出来ない可能性もあり、関連部署と調整してまいります。

市長 公民館建設については、地域の負担軽減のため、今後も統合事業が継続できるように、防衛省、沖縄防衛局に要請してまいります。

議員 統合事業や用地の先行取得はぜひ必要であるので、取り組んでいただきたい。

市ホームページのお悔やみ情報の掲載について



宮城司議員

議員 市ホームページの「不幸」欄の内容についてお伺いしたい。

総務部長 「不幸」欄では、死亡届、葬祭費の支給、国民年金、国民健康保険に関する手続きを掲載している。

議員 現在、お悔やみ情報を新聞等に掲載した場合、遺族は掲載料を支払うことになり、経済的な負担がかかる状況である。市ホームページに

お悔やみ情報を掲載することによって、市民の負担軽減につながるものと考えているが、いかがか。

総務部長 告別式等、緊急を要することに関して時間的に対応が難しい点や、事務作業の増加による新たな財源措置を講ずる必要があると想定されるため、県内の自治体の状況も参考にしながら慎重に検討を進めてまいります。

議員 お悔やみ情報を掲載することによって、市ホームページの閲覧数もふえるものと考えられる。ぜひ、検討をお願いしたい。

新設学校給食センター建設及び民間委託に伴う課題



岸本一徳議員

議員 大山団地自治会から提出された当該センター建設に関する要請書について伺いたい。

教育部長 自治会からは、給食センター敷地から大山団地内道路を利用する架橋建設計画について再考を求めるものなど十数項目の要請がある。

議員 給食センター事業に係る架橋建設は、地域住民に対し、負担等を強いることになるが、打開策はないか。

教育長 自治会の要請に基づき、架橋建設以外の三案を検証したが、架橋設置が必須であるとの結果を受け、引き続き地域住民の負担軽減を図れるよう県も含め、協議・調整し、取り組んでまいります。

市長 子供たちへ安心安全な給食の提供に向け、新設学校給食センターの早期建設への御理解と、地域住民のコンセンサスを得るため、先頭に立って、問題解決に向け誠心誠意取り組んでまいります。

議員 住民と合意形成が実現できるよう期待している。

「ターウムの日」条例の制定について



記するのではなく、食育や田いもの振興・普及と言った文言を盛り込み、事業展開を実施していく予定である。

議員 去る二月六日の「ターウムの日」条例制定に向けた宣言セレモニーに至る経緯をお聞きしたい。

市民経済部長 大山田芋生産組合やJA、農家より以前から要請を受けており、今回の宣言に至っている。

議員 条例の内容はどのようなものか伺いたい。

市民経済部長 現在は素案作成の段階であり、事業を明

米軍基地の整備に係る公共工事の市内業者活用について



議員 防衛省の管轄における建設工事の入札制度について、お伺いしたい。

市民経済部長 防衛省が発注する全ての建設工事は、契約保証金を付すことになっている。なお当該保証金については、特段の事情がある場合などを除き請負代金の一〇%以上となっている。

議員 現在、防衛省発注の工事請負代金が大きいため、

議員 田いも地域の保全のため、また市内の全小中学校へ食育の一環として、給食に田いも料理の提供も可能か。

市民経済部長 田いも生産農家との協議において、計画的に生産、出荷体制を整えれば可能との返事をいただいております、提供も可能と考えています。

議員 ぜひ、農家にとつてもすばらしい農業振興につながる条例にいただきたい。

議員 県内業者にとつて、契約保証金が負担となっている。そこで、防衛省に対して、落札後の契約保証金が低額となるように、分割発注にするなど、市内業者が優先的に、また負担のないような環境をつくっていただくよう要請していただきたいと思います。

市民経済部長 現在、沖縄防衛局においては、地元企業の受注機会拡大のための配慮をいただいている状況であるが、今後も沖縄防衛局と意見交換をする中で、地元企業へのさらなる配慮について要請をしてまいります。

いこいの市民パークの管理運営について



議員 当該公園内の小広場での野球やサッカーの練習等により、周辺住宅にボールが飛んでいく危険性があるため、小広場に防球ネットを設置していただきたい。また、バスケットコートの底面が剥がれているため補修をしていただきたい。さらに、当該コート

の照明が暗いため改善をお願いしたいが、いかがか。

建設部長 防球ネットの設置については、利用実態の把握に努め、防球ネットや植栽による飛球対策を検討してまいります。また、バスケットコートの補修については、新年度予算で対応してまいります。なお、当該コートの照明は、園路用の照明であり、音の問題からも、夜間の利用は控えていただきたい。

愛知区内、宮城自動車整備工場前の信号機改善について



議員 当該場所は大変事故が多いが、市は事故件数について把握しているか。

市民経済部長 平成二十五年中に人身事故が三件、平成二十六年中に物損事故が十件発生している。

議員 信号の停止線が、横断歩道に近くなっており危険であるため、二メートルほど後ろに下げ、カラー舗装をすることで事故を防げるのでは

議員 子供たちを伸び伸びと練習させるためにも防球ネットは必要である。また、バスケットコートは夜八時までの利用となっているが、冬場は暗くて見えにくいいため、ぜひ検討していただきたい。

市民経済部長 停止線の設置や移動等については、公安委員会の管轄であり、改善がなされていない理由については確認がとれていない。しかし、信号機が設置されているにもかかわらず、出会い頭の衝突事故が三件も発生しており、指摘のとおり車両通行の際の空間確保が不十分であることも考えられるため、再度、宜野湾警察署とも現場確認を行い、協議してまいります。

議員 早目に対策を行い、ぜひ、事故の未然防止に努めていただきたい。

中小規模自治会に対するさらなる育成・支援について



議員 自治会加入促進月間の取り組みの効果と加入率の推移について伺いたい。

市民経済部長 加入率は総世帯数の増加もあり低下しているが、加入世帯数は四自治会で増加している。

議員 各自治会の世帯数に応じて交付される補助金について、世帯数の少ない自治会への増額等も検討できないか。

西海岸地域開発事業について



議員 国道五八号宜野湾バイパスは、中央分離帯が広く、両サイドも側道で区切られるなど、変則的な形態となっており、渋滞を引き起こしている箇所もある。当該事業を進めるに当たり道路の見直しも必要と考えるが、いかがか。

市民経済部長 道路の安全対策は協議中であり、側道の撤去等についても、いましばらく検討させていただきます。

議員 普天間飛行場の返還も見据え、市全体の構想づくりに努めていただきたい。

議員 自治会が実施可能であれば、市が行っている業務の自治会への委託等も検討できないか。

市民経済部長 自治会へ業務を委託することで、地域と自治会のつながりが再構築され、自治会への加入促進も期待できることから、引き続き検討してまいります。

議員 ぜひ、自治会のさらなる育成や支援についての取り組みをお願いしたい。

議員 当該地域は海側と商業地側が国道五八号宜野湾バイパスで遮断される形となっており、都市型オーシャンフロント・リゾート地の形成に向けて、自由に行き来ができる立体型のデッキ等を整備すべきと考えるが、いかがか。

企画部長 歩車分離の歩道いわゆるベデストリアンデッキについても、二万人規模の大型MICE施設の誘致など、開発構想の内容によっては調整してまいります。

議員 普天間飛行場の返還も見据え、市全体の構想づくりに努めていただきたい。

観光客誘客の施策について



濱元朝晴議員

◎議員 本市には三百六十万人余りの入域者数がある中、現状では宿泊施設が足りないと考えているが、市としてはどのように考えているか。

◎市民経済部長 本市の宿泊施設三カ所の合計で、五百七十室、千四百九十一名の宿泊が可能であるが、現在の入域者数を踏まえると絶対数として不足していると考えている。

◎議員 このような現状を踏まえ、ホテル等のバックアップもぜひ検討いただきたい。次に、本市の観光振興の中心的役割を担う観光振興協会の事務所について、ベイサイド情報センター内喫茶店の中に入口があり、入りづらく、目立たないといった状況にあるが、どのように考えているか。

◎市民経済部長 事務所移転については、観光振興協会からの要望を受け現在協議中であり、引き続き協議を行いながら移転先については検討してまいりたい。

◎議員 ぜひ、事務所移転に向けた支援をお願いしたい。

決議・意見書

今定例会において、基地関係特別委員会から提出された「MV-22オスプレイからの部品落下事故に対する抗議決議及び意見書」は、全会一致でそれぞれ可決され、後日(三月二十七日)、第三海兵遠征軍司令官・沖縄地域調整官及び沖縄防衛局長宛に直接抗議・要請を行い、同型機の飛行の即時中止、事故原因の早急な公表、住宅地域上空での飛行訓練の中止などを要請した。

MV-22オスプレイからの部品落下事故に対する抗議決議 可決

去る3月12日、MV-22オスプレイがアルミ製部品を落下させたという事故が発生した。沖縄防衛局から本市に連絡があったのは、事故発生から4日後の3月16日になってからである。通報がおくれた上に詳細な事故原因も明らかにしないまま、住宅地域上空での飛行を続けており、市民・県民の安全より軍事訓練が優先される危険な状態に、市民の怒りは既に限界を超えている。

MV-22オスプレイと普天間基地所属機に限っても部品落下・紛失は、今年度だけで既に4件も発生しており、米軍の緊張感の欠如を強く指摘せざるを得ない。また、これまで事故の原因究明、公表もされず飛行訓練を続けるのは、近い将来大惨事を起こしかねない。

よって、本市議会は、市民・県民の尊い生命及び財産並びに安全・安心な生活を守る立場から、今回のMV-22オスプレイからの部品落下事故に対し、厳重に抗議するとともに、下記の事項が速やかに実現されるよう強く要求する。

記

1. 同型機の飛行を即時中止し、事故原因の結果を早急に公表すること。
2. 住宅地域上空での飛行訓練を即時中止すること。
3. 日米地位協定を抜本的に改定すること。
4. 普天間飛行場の即時閉鎖、早期返還を実現すること。

以上、決議する。

平成27年3月26日

沖縄県宜野湾市議会



井上一徳沖縄防衛局長へ要請する市議団

議会改革に関する調査特別委員会

【先進地視察】

- 四月九日(県内)
- ▼沖縄県名護市議会
- 四月二十日～二十二日(県外)
- ▼福島県会津若松市議会
- ▼茨城県取手市議会

議会改革に関する調査特別

委員会は議会改革の取り組み

として議会基本条例の制定に

向け、先進地視察を行った。

会津若松市議会においては、

広聴活動を通じた政策形成サ

イクルの具体事例や、議決結

果の説明責任を果たすべく議

員間討議の実践、さらには現

状における課題や今後の展開

等についてを学んだ。

また、取手市議会において

は、改革先行型の条例制定プ

ロセスや市民に開かれた議会



沖縄県名護市議会を視察



茨城県取手市議会を視察



福島県会津若松市議会を視察

の実現に向けた情報公開・発信のあり方などを学んだ。議員からは、議員間討議の進め方やその効果、議会における学識経験者等の活用手法さらには市民への議会報告会のあり方などについて活発な質疑も行われた。

議会フォト掲示板



5/11 市道大山7号開通式での渡り初めに参加する議員。



5/15 市役所前でアイキャッチ作戦を行い、交通安全を呼びかける議員。

市議会を傍聴してみませんか。

本会議は、一般に公開されており、傍聴受付で住所、氏名等の記入を行えば、どなたでも傍聴することができます。

六月定例会は、六月十一日(木)に開会予定となっております。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

第389回宜野湾市議会定例会付議事件一覧及びその結果

事件番号	件名	議決結果
議案第3号	平成26年度宜野湾市一般会計補正予算(第7号)	原案可決(全会一致)
議案第4号	平成26年度宜野湾市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	原案可決(全会一致)
議案第5号	平成26年度宜野湾市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決(全会一致)
議案第6号	平成26年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決(全会一致)
議案第7号	平成26年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決(全会一致)
議案第8号	平成26年度宜野湾市介護保険特別会計補正予算(第5号)	原案可決(全会一致)
議案第9号	平成26年度宜野湾市介護老人福祉施設等特別会計補正予算(第4号)	原案可決(全会一致)
議案第10号	平成26年度宜野湾市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	原案可決(全会一致)
議案第11号	平成27年度宜野湾市一般会計予算	原案可決(賛成多数・退場2名)
議案第12号	平成27年度宜野湾市国民健康保険特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第13号	平成27年度宜野湾市下水道事業特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第14号	平成27年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第15号	平成27年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第16号	平成27年度宜野湾市介護保険特別会計予算	原案可決(賛成多数・退場3名)
議案第17号	平成27年度宜野湾市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第18号	平成27年度宜野湾市水道事業会計予算	原案可決(全会一致)
議案第19号	宜野湾市行政手続条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第20号	宜野湾市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第21号	宜野湾市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第22号	宜野湾市附属機関設置条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第23号	宜野湾市墓地等の経営の許可等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第24号	宜野湾市の保育等の利用者負担に関する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第25号	宜野湾市保育の実施に関する条例を廃止する条例について	原案可決(全会一致)
議案第26号	宜野湾市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決(賛成多数)
議案第27号	宜野湾市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決(賛成多数)
議案第28号	宜野湾市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決(賛成多数)
議案第29号	宜野湾市介護保険条例の一部を改正する条例について	原案可決(賛成多数)
議案第30号	宜野湾市建築基準法施行条例及び宜野湾市手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第31号	宜野湾市消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第32号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意(全会一致)
議案第33号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意(全会一致)
議案第34号	伊和原市営住宅建替工事(C棟建築)の議決内容の一部変更について	同意(全会一致)
報告第1号	交通事故による和解等に関する専決処分について	報告
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	答申可決(全会一致)
決議案第2号	MV-22オスプレイからの部品落下事故に対する抗議決議	原案可決(全会一致)
意見書第2号	MV-22オスプレイからの部品落下事故に関する意見書	原案可決(全会一致)
意見書第3号	米軍基地返還における宜野湾市商工事業者の受注機会に関する意見書	原案可決(全会一致)
意見書第4号	軽度外傷性脳損傷の周知等の措置を求める意見書	原案可決(全会一致)
意見書第5号	手話言語法制定を求める意見書	原案可決(全会一致)
意見書第6号	所得税法の寡婦控除規定の改正を求める意見書	原案可決(全会一致)
陳情第3号	軽度外傷性脳損傷の周知及び労災認定基準の改正などを求める陳情	採択(全会一致)
陳情第5号	手話言語法制定を求める意見書の提出を求める陳情	採択(全会一致)
陳情第14号	徒歩による津波避難ルートの追加について	採択(全会一致)
陳情第17号	年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書(決議)の採択を求める陳情	閉会中の継続審査
陳情第18号	「所得税法の寡婦控除規定の改正を求める意見書」採択に関する陳情	採択(全会一致)
陳情第19号	個人住民税(市町村民税)に係る特定寄付金対象施設の指定に関する要望	閉会中の継続審査
陳情第20号	本会議(議会開会中)の各自治会(公民館)への映像配信について	閉会中の継続審査
陳情第21号	宜野湾市内建設業者への工事の受注機会の配慮について	採択(全会一致)
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第10号 期日前投票所を大規模集客施設へ設置することについて 陳情第19号 個人住民税(市町村民税)に係る特定寄付金対象施設の指定に関する要望	承認 (総務常任委員会)
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第13号 耐震診断費用の自己負担軽減について 陳情第17号 年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書(決議)の採択を求める陳情	承認 (経済建設常任委員会)
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第6号 幼稚園教育の制度改善について 陳情第7号 「幼稚園・就学前教育」義務教育化・無償化の早期実現を求める陳情 陳情第8号 「義務教育費国庫負担」堅持及び2分の1復元を求める陳情 陳情第12号 平成27年度福祉施策及び予算の充実について 陳情第16号 受動喫煙防止条例の制定等受動喫煙防止諸施策の強化を求める陳情	承認 (福祉教育常任委員会)
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第20号 本会議(議会開会中)の各自治会(公民館)への映像配信について	承認 (議会改革に関する調査特別委員会)

第388回宜野湾市議会臨時会付議事件一覧及びその結果

事件番号	件名	議決結果
決議案第1号	米軍ヘリAH-1Wの装備品落下事故に対する抗議決議	原案可決(全会一致)
意見書第1号	米軍ヘリAH-1Wの装備品落下事故に関する意見書	原案可決(全会一致)
議案第1号	平成26年度宜野湾市一般会計補正予算(第6号)	原案可決(賛成多数)
議案第2号	宜野湾市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決(賛成多数)